

顔認証付きカードリーダーの目視確認モードが改善されました

何らかの事情で顔認証や暗証番号での本人確認ができない方に対してご利用いただく、目視確認モードについて、これまでは立ち上げる際に資格確認端末から操作が必要でしたが、**顔認証付きカードリーダーの操作のみで利用できるように改善されました。**

目視確認モードの使用場面

以下のような場合に、医療機関等の職員が顔認証付きカードリーダーを目視確認モードに切り替え、目視確認を行ってください。

- ・ **顔認証がうまくいかず、かつ患者本人が暗証番号を忘れてしまった(又は暗証番号を3回連続で間違えてロックがかかった)場合**
- ・ **患者ご本人が認知症・障害等により、顔認証や暗証番号の入力操作が上手くできない場合**
- ・ **体調・状況が悪化して、顔認証や暗証番号の入力操作が上手くできない場合**
- ・ **機械のトラブル等で顔認証や暗証番号の入力操作ができない場合**



目視確認モード使用時の流れ

目視確認モードを使用するにあたり、事前にオンライン資格確認等システムのアカウントごとにパスコードの発行が必要になります。裏面の手順で設定してください。

1

顔認証付きカードリーダーの画面で《職員用ボタン》を選択してください。※

職員用ボタン

●●●病院

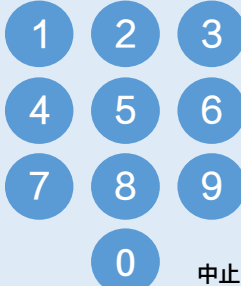
マイナンバーカードを置いてください。



2

事前に発行された目視確認用パスコードを入力してください。

目視確認用パスコードを入力してください



3

職員が顔写真を目視で確認して本人確認を行い患者にマイナンバーカードを顔認証付きカードリーダーに置くことをご案内ください。

資格確認を開始します。

目視で本人確認を行いマイナンバーカードを置いてください。

中止



③以降は通常どおりの同意画面に遷移します

※《職員用ボタン》が表示されていない場合、裏面の手順で目視確認用パスコードを発行し、顔認証付きカードリーダーの再起動を行ってください。(目視確認用パスコードの初回発行時のみ)

目視確認用パスコードの発行方法

- 1 オンライン資格確認等システムにログインします。
「メニュー」の《アカウント情報管理》から《目視確認用パスコード発行》をクリックします。

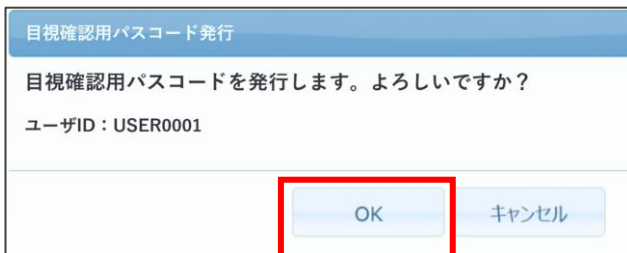


- 2 「目視確認用パスコード発行」が表示されますので、《発行》をクリックします。

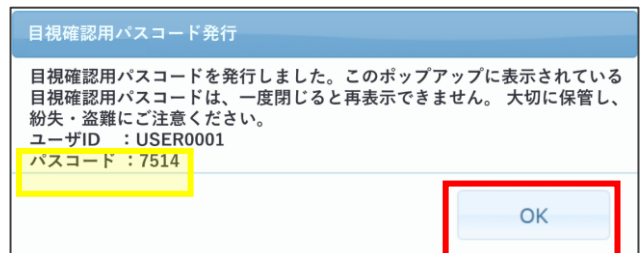


※パスコードは自動で発行されます。任意のパスコードの設定はできません。

- 3 確認メッセージが表示されますので、《OK》をクリックします。



- 4 パスコード(4桁)が表示されますので、ご確認ください。確認後、《OK》をクリックします。
※《OK》をクリックすると、パスコードを再表示できませんので、ご注意ください。



よくある質問

Q. 目視確認用パスコードは、施設あたり1つの発行で良いですか？

A. オンライン資格確認等システムのアカウントごとに4桁の目視確認用パスコードを発行する必要があります。
レセコンの改修を行えば、レセコンからも目視確認用パスコードの発行が可能になります。

Q. 目視確認用パスコードには、有効期限はありますか？

A. 有効期限はありません。

Q. 目視確認用パスコードを忘れてしまいました。どこかで確認できますか？

A. 発行済パスコードの照会機能はありません。忘れた場合は、新しいパスコードでの再発行が必要です。

